聖戦姫
オクロス
-COMPLETE BOOK-

聖戦姫イリス

-COMPLETE BOOK-

聖戦姫イリス～洗脳・改造される乙女の肉体～ 2P

聖戦姫イリス2～連鎖する洗脳堕淫・もう一人の聖戦姫～ 26P

聖戦姫イリス3～淫靡なる終焉～ 52P

聖戦姫メティス-洗脳調教に堕ちる気高き乙女- 78P

ゲスト絵まとめ 101P

描き下ろし漫画 104P

聖戦姫
アリス
～洗脳・改造される乙女の肉体～

聖戦姫――
それは聖なる力で悪と戦う乙女たち

ドッオオオン

聖戦姫の一人であるイリスは侵略組織リズフォヴィアの世界征服を阻止するため戦いを続けていた

へへっ♪ 何度来たって同じよ♪

世界とみんなの平和はあたしが守るんだから♪

さーて帰ってお風呂に…

フフフ… あいかわらず元気一杯ね

その笑顔も今日が最後だと思うと悲しいわ♥

ガッ

だ、誰!?

あなたは…リズフォヴィアの首領
暗黒女帝レクソーズ!?

こんにちはイリス♥
今日の戦いも
見事だったわよ

親玉が直々に
登場ってこと!?

おっと動いちゃ駄目よ
今日はあなたを
捕獲しにきたんだから♥

なっ…!?

じゅるっ

素直に捕まって
くれるなら痛い目
見なくて済むわよ?

聖戦姫を舐めないでよね!
返り討ちにしてあげる!

あたしがそう簡単に
捕まると思ったら
大間違いなんだか…

ふふっ…そう
言うと思ったわ

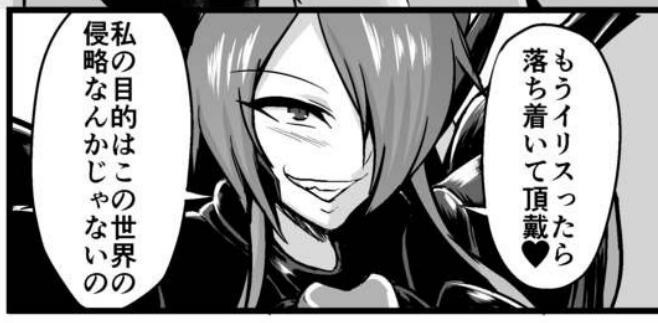
それじゃあ痛い目
見てもらおうかしら♥

えっ…?

ギチ…

油断したわね イリス
足元の異変に気付かないなんてお馬鹿さん♥
ぎぎぎぎッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぎッ
あぐ
ウフフ…この日を待ちわびていたのよ…
それじゃあ私の基地へと案内してあげる♥

いい格好よイリス
流石の聖戦姫も気を失ってる間に拘束されては文字通り手も足も出ないわね♥
ギチッ
くぅっ…この卑怯者！
あなたなんか今すぐ倒してやる！
ギチ
この状況にも関わらずその態度…あいかわらず強気な子ね
あたしを捕まえてその間に世界を支配するつもりなんでしょ!?そんなことさせないんだから！



あなたに一目惚れしたから私はこの世界に来たの♥世界征服なんてあなたと戯れたかったための口実♥
本当はもう少しあなたの元気な戦いを見ていたかったけど…もう欲望を抑えきれなくてこうして捕まえちゃったってわけ♥
どう？私の奴隷になる気は無いかしら？
あなた自身と聖戦姫の強大な力…二つとも私のものにしたいの♥

キャ～♥
ふざけないで！誰があなたみたいな悪の手先なんかに！
あなたそんなに気持ち悪い奴だったの!?
いや～ん断られちゃった♥まぁ当然よね～♥じゃあしょうがないから…
これから肉体改造を行なってあなたを洗脳してあげる♥
ズッ
ズル
ビク
ズズズズズズ
洗脳!? 何を言って…
ひっ!?
何これ気持ち悪い！
私があなたを愛しているようにあなたも私が好きでしょうがないっていう記憶と思考に書き換えるの♥
あなたは平和を守る聖戦姫から私の忠実な奴隷として生まれ変わるのよ！
ハハハ
ギリッ
冗談じゃないわ…
あたしは聖戦姫…みんなを守る戦士よ！
洗脳？そんなのあたしに通用すると思ったら大間違いよ！
どんなことをされたってあたしは絶対に負けたりしないんだから！

おぉぉぉぉぉぉ
ぎッぎぎぎ
ビクンッ
ビクッ
ぐちぐちぐち
ぐちぐちぐち

ナノマシンによる胸部の肉体改造が始まったようね…
胸が大きい方がもっと私好みになると思うのだから大きくしてあげるわ♥
ドクン
ビクッ
ドクン
いやぁあっ!! 何これぇ!?
なっ…何!?胸がどくんどくんって…
ドクン
ひっ…う嘘でしょ!? あたしのおっぱいがこんなっ…!?
ウフフっ♥素敵よイリス私好みのデカ乳がとっても似合ってるわ♥
ギゅる
それにただ大きいだけじゃないの♥ほらこうやって…
やだっ触らなっ…
ビクッ!?
ズムッ
ムニュッ

ズッ
ビクッ
ビクッ
ズプッ
んぉぉぉぉっ
そんなっ♥
乳首の中にいいいっ♥♥
ガクガク
ガクガク
おぉ♥
おぉ♥
アハハハハッ♥
両足震わせながら
漏らしちゃうくらい
嬉しいのかしら？
乳首まんこで
イくなんてとんだ
変態聖戦姫ね♥
プシャアアッ
はぁ♥
はぁ♥
あぁ…いいわよイリス♥
どんどん淫らな身体に
してあげる…ウフフッ♥
ほら舌も改造
してあげる
ほ～らチクっと
するわよ～♥
ひっ!!
チクッ
プスッ
ひぐっ
ビクッ
ビクッ
味覚も感度も作り変えて
舌まんこにしてあげる♥

ひっ♥
いやっ♥
もうやめっ…
やめひぇっ♥
ズポッ
ズポ
ズッ
グチュ
グチュ
グチュ
グチュ
ずちゅ
ぐぽっ
このままじゃあたしっ…
本当にレクソーズの
奴隷にされちゃうぅぅっ♥♥
その反応最高よ♥
もっと私に
聞かせて頂戴♥
ビクッ
ビクッ
やおおおおっ♡
ピストンの勢いが
強まってるのがわかる？
もうすぐあなたの全身に
薬物とナノマシンを一斉に
投与しようとしている
その時が
あなたの最後♥
ひっ!?
いやぁっ♥
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ビクッ
ズポ
あなたは成す術なく
洗脳されちゃうのよ
それじゃあさよなら♥
やっ♡
やめひぇぇッ

イグゥゥゥッ♥
ビュッ
ビクッ
ドドッ
おッ♥おおお♥
おッ
おお…
ガクッ
ビク
ビク
どろぉ
そのままゆっくりと
意識を手放しなさい
次に起きた時
あなたは…アハハッ♥

イリス♥
う…
起きなさいイリス♥
うう…
あれ…あたしいつの間に眠って…
この方は…レクソーズ…様？
ほらあなたの大好きなおちんちんよ
いつも通りご奉仕してみなさい♥
あ…そうだあたしレクソーズ様のご奉仕に来たんだった
ほら返事はどうしたの？
レクソーズ様にお仕えするのがあたしの役目なのにどうして忘れてたんだろう♥
ビンッ♥
ビンッ♥
はぁい♥
それでは私の口まんこでご奉仕フェラをさせていただきますね♥
はぁ
はあ♥
素敵な勃起おちんぽ…匂いを嗅いだだけでイっちゃいそう…♥
んっ♥
んん♥
ちゅぷ
ちゅ
ズッ
プッ

もっと口を吸いつかせて舌を絡めなさい
そうそう♥上手よ♥とっても気持ちいいわ♥
ぐぽ
ぐぽ
んッ♡
んッ♡
いいわぁ…あなたの口まんこは最高よイリス♥
んん～♡
ちゅぽぽぽ
ちゅぷ～♡
レクソーズ様に褒めてもらえてるっ♡
聖戦姫として幸せ…
あれ？聖戦姫？
あたしは…
あら…完全に洗脳しきれてなかったのかしら？
流石は聖戦姫一筋縄ではいかないわね…けどもう手遅れよ♥
ガッ
むぶぅっ!?
なっ何これ!?どうしてあたしレクソーズのおちんちんなんてくわえてるの!?
んもぉおっ!?
ぎぼッ

んん～♥ やっぱ強引にした方が気持ちいいわぁ♥
こっちの方が興奮してより勃起しちゃう♥
ズブッ
ズブッ
んッ
んぼッ
息ができなっ…それなのになんで気持ちいいの!?
フーッ
おほっ♥ 口まんこさいこぉ～♥ もう出ちゃいそうよぉ♥
私の超こってりぷるぷる特濃精液を味わせてあげる♥
ズブッ
いやぁあっ！ 出さないでぇえ！
ドピュッ
ドピュッ
ドピュッ

イヤぁっ もうやめっ
イッ―ギィ♡
ビクッ
ビクッ
ひぐっ♡
ビクッ
ガクッ
ガクッ
ほらほら頑張って耐えなさい♥
少しでも腰を降ろすとおちんちんが一気におまんこ貫いて子宮にディープキスしちゃうわよ♥

身体が動かないぃ…なんでぇ…？
ビクッ
グイッ
私の精液を味わったあなたの身体はもう私の虜なの♥
ほらこうするとおまんこが大喜びするでしょう？
クリュ
クリュ
ビクッ
ぅんひぐっ♥
おまんこにカウパー塗っちゃダメぇっ♥

抗っても無駄よ♥その身体はもう私の思うがまま♥
今から3つ数えるわ0になったら一気に腰を降ろしなさい…いいわね？
だっ…誰がそんなことっ！
うふふ…残念だけどあなたは私の言葉に逆らえないのよ♥
さーん♥
ひゃっ!?
にーぃ♥
うそっ…身体がぁ…♥
そんなっ…だめっ！だめだめだめっ♥
ぐ…
ぐぐ…
いーち♥
ぜろっ♥
おぶッ♡
ビクッ
おぐッ♡
おぼぉ♡
ビクッ♥
おぼぼぼ♡
アハハハハッ！これでわかったでしょう？あなたの身体はもう私のもの♥
あなたは聖戦姫を名乗る資格もない私専用の淫乱肉便器へと堕ちたのよ！

あっ♥
やぁっ♥
ビクッ
ビクッ
あたし聖戦姫なのにっ♥
正義のヒーローなのに悪の
おちんぽに負けちゃったぁあっ♥♥
ダメなのにっ♥レクソーズ様の
おちんぽでおまんこじゅぽじゅぽ
されたいのぉぉおっ♥♥♥
にゃんでこんなに
幸せになっちゃうのぉっ♥
ズッチュ
ズッチュ
ブルル
何も心配しなくて
いいのよイリス♥
あなたが聖戦姫として
戦ってきたのは私と出会い
奴隷になるためだったの♥
だからこうして
私に支配された以上
あなたは聖戦姫である
必要なんてないのよ♥
ブルン
ブルン
ふあぁっ♥
あたしレクソーズ様に
会うために聖戦姫に…？
ビクビク
そうよそれが
聖戦姫の定めなの
ヌッ

おブッ!?
だからその身体すべて私に委ねなさい♥
こんな乱暴に犯されてるのに
おッ
おほ
おお…
おまんこが…あたしの子宮が喜んでるっ♥♥
幸せが溢れて気持ちいいのが止まらないっ…
そっか…あたしこの日のためにこの聖戦姫になったんだ♥
あっ…ああっ♥レクソーズ様…レクソーズ様ぁ♥
ふふっ…どうしたの？
あたしついにレクソーズ様の奴隷になれたんですねっ♥今日レクソーズ様に犯されるために聖戦姫として過ごしてきたんですねっ♥
ようやく気付いたのね♥私とても嬉しいわ♥
あたしもっ♥あたしもすごく嬉しいですっ♥♥

好きっ♥好きぃっ♥
大好きでしゅレクソーズ様ぁっ♥
ずっと…ずっと側にいてください♥
おまんこも乳首も…
身体も心もすべて♥
すべて捧げますぅっ♥
ぐぽっ
ぐぽっ
はっ♥
はっ♥
ええ私たちは
いつまでも一緒よ♥
これから永遠に
愛し合いましょう♥
さぁそろそろ精液を
恵んであげるわ♥
淫乱な下僕まんこで
すべて受け取りなさい♥
はあ♥
はっ♥
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ください♥
レクソーズ様の精液っ♥
あたしの子宮にっ♥
注いでくださいぃぃ♥

ぎッ♡ぎッ♡ぎッ♡
出てるぅっ♥
ビクッ
ビクビク
レクソーズ様の精液があたしの子宮にぃっ♥
さぁしっかりと私の遺伝子を受精しなさい！
その身体を私の奴隷にふさわしい姿に変えてあげる♥
ドピュドピュ

ゾクゾクッ
ビクッ
ビクッ
ひぃぃぃ♥
あッ…
キィィィン
ゴパッ
ギチ
ギチ
ウウウウ
ギチ
ギチ
ギチ
ギチッ
ギチッ
ギチッ

あぁ…素敵ぃ♥

まるでレクソーズ様と一つになった気分…♥

はぁ♥

はぁ♥

ちゅ
んっ♡
んむ♡
ちゅぷ
カリに舌を絡み付けて
すべて舐めとりなさい
そう上手よ♥
はぁ
はぁ♥
れろ
れろ
ウフフ…イリスは
おちんぽ大好きねぇ♥
さてあなたを手に入れた以上
この世界に用は無いわね…
あなたの力ですべて
破壊し尽くしてきなさい♥
はいっ♥お任せください
レクソーズ様ぁ♥
こんな世界あたしが跡形もなく
滅ぼしてきます♥

聖戦姫オリンス

～洗脳・改造される乙女の肉体～

聖戦姫
イリス2
～連鎖する洗脳堕淫・もう一人の聖戦姫～

聖戦姫――
それは聖なる力で
悪と戦う乙女たち

へへっ♪
何度来たっ

世界とみんなの平和は
あたしが守るんだから♪

さーて帰って
お風呂に…

その笑
今日が
思うと

聖戦姫の一人であるイリスは
侵略組織リズフォヴィアの世界征服を
阻止するため戦いを続けていた

こんにちはイリス♥
今日の戦いも
見事だったわよ

だがある日
イリスはリズフォヴィアの首領
レクソーズに捕らえられてしまう

リズフォヴィアの基地内で
イリスのことが好きだという
レクソーズからの求愛を
イリスは即座に拒んだ

もうやめっ…
やめひぇっ♥

このままじゃあたしっ…
本当にレクソーズの
奴隷にされちゃうぅぅ♥

ピストンの勢いが
強まってるのがわかる？
もうすぐあなたの全身に
薬物とナノマシンを一斉に
投与しようとしているの
その時が
あなたの最後♥

だが彼女を待っていたのは
強制的にレクソーズの奴隷へと
改造される洗脳調教であった

それじゃあさよなら♥

薬物とナノマシンを投与され
改造されていくイリスの肉体

イヤぁっ
もうやめっ

頑張って
い♥

少しでも腰を降ろすと
おちんちんが一気に
おまんこ貫いて子宮に
ディープキスしちゃうわよ♥

イリスは成す術無く身も心も
レクソーズに掌握されてしまう

洗脳されたイリスは記憶も
肉体も作り替えられてしまい
ついには生殖器による膣内射精で
レクソーズの精子を受精

あぁ…素敵ぃ♥

はぁ♥

はぁ♥

まるでレクソーズ様と
一つになった気分…♥

遺伝子をも改造され
レクソーズの眷属として
生まれ変わってしまった

その姿は世界と人々のために
悪と戦ってきた聖戦姫ではなく

レクソーズを心より愛し
彼女への服従が何よりの
快楽でありすべてである
忠実なる奴隷――

堕淫姫の姿であった

ドリィィィ

久しぶりだね アストラエ！
イリス！
あなたも来てくれたのね！
もちろんだよ！ あんなの放っておいたら 大変なことになるもん！
一緒にあいつらやっつけちゃおう！
ニコッ
もう…イリスったら 相変わらず人一倍 正義感が強いんだから
「そんなあなたが 大好きでずっと 一緒にいたい」って…
ギュッ…
いつか私の想いを 伝えられたら いいな…
さぁ私たち二人が 揃えばもう無敵よ！
行くわよ イリス！
聖戦姫の力を 見せてやりま…
ミュッ

しょッ
おぐぐぉッ…
ビクッ
イリ…ス…？
かはっ
ごめんね
アストラエ
ドサッ
ドサ
アストラエを
捕まえてこいっていう
レクソーズ様の命令なの♥
バチッ
バチ
バチ
少しの間
眠っていてね♥
レクソーズ…様!?
ガクガク
イリス…
何を言って…
それにその
姿…は…
ブラッ

レクソーズ様ぁ♥命令通りアストラエを捕まえてきました♥

あと都市もいくつか破壊してきました♥

よくやったわ♥偉いわよイリス♥

触手の召喚や操り方も順調に覚えてるようね…

それでこそ私の奴隷…自慢の堕淫姫よ♥

フリ♥フリ♥

さぁて優秀な奴隷にはご褒美をあげないと♥イリスは何が欲しいかしら？

あたし…レクソーズ様が恵んでくださるものならなんでも嬉しいです♥

はっ♥

はっ♥

うふふっ♥嬉しいこと言ってくれるわね♥

それじゃあ今回は特別に…

イリスから離れなさい！

あらお目覚めかしら？

イリス！レクソーズから離れて！

そいつはリズフォヴィアの首領…私たち聖戦姫の倒すべき敵なのよ!?

何を言っても無駄よイリスは私の奴隷として洗脳改造したもの♥

せっ…洗脳改造!?

そうよ♥実は私イリスのことが大好きだったの…

ギチッ

ギチッ

だから捕まえて洗脳しちゃったの♥ついでに肉体も私好みに改造しちゃったわ♥

今のイリスは私の眷属…最高の奴隷よ♥

よくも…よくもイリスを…

ギリッ

レクソーズ…お前だけは絶対に許さない…！

そんなこと言っちゃダメだよアストラエ

あたしは聖戦姫の本当の使命を教えていただいただけなの♥それを今からあなたにも教えてあげる♥

!?

ズルッ

ひっ!? 何これ!?

やだやだ気持ち悪いっ…触らないで!

ニュル ニュル

あなたもイリスと同じように洗脳してあげるわ

大丈夫よ痛いのは最初だけだから♥

スパーン

トス

ビキビキ

トスッ

ひぎっ

ビクッ

あッ あッ

ビクッ

ビクッ

ビク

あなたはこれに耐えきれるかしら？
クスクス
聖戦姫は悪に屈したりしないわ！
見てなさいよ！こんなの隙を見て脱出して…イリスを助けてあんたなんか倒してやるんだから！
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ギリッ
舐め…ないで！
これくらい耐えて…
ひっ!?
ドクッ
ドクッ
ドクッ
胸がっ…あ…熱いぃ！
何がっ…
ギリッ
ギリッ
ギリッ
ひぃぃぃっ!?
あなたの身体が改造を受け入れはじめたようね
私の奴隷にふさわしいおっぱいになってるわ♥
ひっ
プス
プス
プス
それじゃあ本格的に始めましょうか♥
プス
プス
あぁっ!?

あッ
あがッ
あがッあッ
ビクッ
ビクッ
やめっ
やめひぇえッ
ガクガク
投薬量を一気に倍にしてあげるわ♥
そんなに痙攣してちゃすぐ私に洗脳されちゃうわよ～？ほらほら聖戦姫なんでしょ頑張って頑張って♥
ビクン
頭の中ぐちゃぐちゃにかき回されてっ…私の記憶が…別のものに変えられてるっ!?
ビクッ
このままじゃ私まで…そんなのダメ！私はイリスと一緒に…
あなたよくイリスと組んで私の部下と戦っていたわよね…
イリスの戦闘は常に監視してたから知ってるわよ
あッ
やめあ
とめてえぇ
私のイリスといつもくっついてたからほんとイラついてたの♥
あがッ
あがっあがあ
すぐ終わらせちゃつまらないもの…しばらくあなたの悲鳴を聞かせて頂戴♥
ブシャア

数時間後――

ひあぁっ

ひゃあぁぁ～♡

そろそろ頃合いね…

ほらイリス行ってあげなさい

はぁい♥

アストラエ♪

うぁ…

おめでとう！アストラエもついにこの時が来たんだよ♥

ふえ…？

身体が疼く…あれ？私どうしてこんなところに…？

確かイリスと…イリス…と…

んむっ!?

むぐっ

イリスの舌が絡みついてっ…

じゅちゅっ

唾液がっ…染み込んでくるっ♥

んッ♥んんッ♥

ぞくっ…♥
なんでこんなに気持ちいいの…？
頭の奥が…痺れるっ…♥
ふふ♥気持ちよかったでしょ♥
だけどもっとすごいのはこれからだよ♥
あたしのおちんぽでアストラエをレクソーズ様の眷属にしてあげる♥
ぺろっ
ぐっ
ぐぐぐぐっ…
あっ…♥
ビクッ
ドクン
イリスのおちんぽ…とても大きくていやらしい匂い…
どう？すごいでしょ私のおちんぽ
レクソーズ様がご褒美に生やしてくれたの♥
おほぉ♥
ぞくぞくっ
鼻の奥…脳まで匂いが届いて…♥
これで今からおまんこを犯してあげる♥

嬉しい…嬉しいのに…何かがおかしい…？
ビクッ
あっ♥
おお♥っ…
さぁ挿れるよアストラエ♥
これがレクソーズ様の奴隷に与えられる…
快楽だよっ♥
ちゅ…
あっ♥
ずぷっ
あ♥あ♥あっ♥
あぐううっ♥何これぇええ♥
気持ちよすぎるぅ♥
こんな快楽味わったことないでしょ♥
リズフォヴィアに下ればずっとこの快楽が味わえるんだよ♥
ビクッ
ビクッ
パン
パン
パン
パン
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
さぁレクソーズ様へ忠誠を誓って♥
そうすればおまんこに精液どぴゅどぴゅしてもっと気持ちよくしてあげる♥
もっと…？これ以上気持ちよく…？
うん♥聖戦姫なんかじゃ味わえない究極の快楽だよっ♥

ほらほらもっと激しく突いてあげる♥
あっ
ビク
ビクッ
ああああっ
アストラエのおまんこあたしのおちんぽに吸いついてきて最高に気持ちいいよっ♥
パンパンパンパ

ほらイっちゃえ♥
イキ狂っちゃえ♥
ひぃん♥
あっ
悪の遺伝子受精させてレクソーズ様の眷属にっ♥
奴隷にしてあげるっ♥
あっ♥
出るッ♥
ビクッ
アストラエッ中に出すよっ♥♥
出してっ♥
出してイリスッ♥
私の一番奥っ♥
イリスの精液で一杯にしてぇ♥

ドビュビュ
ゾゾゾゾ
ビクッ
おッ♥イクッ
おッ♥おッ
おッ♥おッ♥おッ♥
精液っ♥どぴゅどぴゅ出てるっ♥
ビューッ
ブビュビュ
ビューッ
子宮にたっぷり溜まってるぅぅぅっ♥
ビクッ
気持ちいい…♥幸せ…♥
こんな幸せな気持ちがあったなんて…♥
ヴンッ
キュイイイッ

ギュギュ
あぁ…すごく気分がいい…♥
ギチチチッ
快楽に包まれて私の身体が生まれ変わっていく…♥
ギッ
ギ
イリス…私ようやく理解できたわ…♥
はぁ♥
はぁ♥
これが…聖戦姫の真の姿…
グギュ
グギュ
ヴゥゥゥゥン
レクソーズ様の奴隷としての姿なのね…♥

よくやったわイリス♥
私の命令通りに動いてくれるあなたはとてもいい子ねぇ♥
あぁ…レクソーズ様ぁ♥あたし褒められただけでイっちゃいそうですぅ♥
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
偉大なるレクソーズ様…♥
何も知らない私が愚かでした…先程のご無礼をお許しくださいぃ♥
ビン
ビンッ
アストラエ…そんなことはもうどうでもいいじゃない♥
それよりもほら♥
二人の交尾を見てたら私のおちんぽこんなに勃起しちゃったの♥

はッ♥
はッ♥
はッ♥
はッ♥
あぁ…これがレクソーズ様のおちんぽ…♥
レクソーズ様ぁ♥♥早くおちんぽっ♥♥おちんぽください♥
焦らなくてもすぐあげるわよ♥
でも一本じゃあ効率悪いわねぇ…
ビキッ
ビキ
ほ～らこれで仲良くおちんぽ半分こよ♥
好きなようにしゃぶりなさい♥
ビクッ
ビクッ
れろ♥
れろ♥
ちゅぷ
ちゅぷ
ふふ♥がっついちゃって可愛らしいわぁ♥
ハッ♥
ハッ♥

さぁ二人とも♥おまんことケツ穴どちらにおちんぽ欲しいかしら？

ヒクヒク

キュンキュン

フリ♥

フリ♥

ハーッ♥

ハーッ♥

ハーッ♥

おまんこっ♥おまんこにください♥私の子宮にレクソーズ様の特濃ぷるぷるこってり精液お恵みくださいっ♥

私もっ♥私もレクソーズ様の偉大なおちんぽください♥

ウフフ…もちろんおまんこよね♥

ジュルッ

二人のおいしそうなとろとろのダブルまんこ…一緒に食べてあげるわ♥

ズブブゥウウッ

あぁあぁっ♥

きたっ♥きたぁ♥レクソーズ様のおちんぽっ♥
あんっ♥
んあっ♥
もっとぉ♥
もっと激しく突いてくださいっ♥
あぅぅっ♥
しゅごっ♥しゅごいぃっ♥
おっ♥おぉっ♥
いいっ♥いいわぁ♥
二人のおまんこの快感が同時に伝わってくる♥
私のダブルおちんぽとろけそうだわぁ♥
堕淫姫の奴隷まんこ最高よぉ～♥
ズパン
ズチュ
ズッ
ドチュ

アストラエともこうしてわかりあえてとても嬉しいわぁ♥

これもすべてイリスのおかげ♥これからもより愛してあげる♥

パン パン パン パン

ありがたきお言葉っ…♥あたしとても幸せですぅ♥

私も幸せですっ♥奴隷としてっ一生尽くしていきますっ♥

ウフフ…♥さぁ奴隷たちに精液の恵みよ♥

フッ♥ フッ♥

私のデカキンタマで熟成させたドロドロの特濃ザーメンゼリー♥二人の子宮へたっぷりと注いであげるっ♥

ブルッ ブルッ

はいいい♥

ありがとうございますご主人様ぁあ♥♥

ドビュビュ
あぁっ♥
あぁ♥ぉぉぉぉ♥
あぁっ♥
ドビュビュ

ウフフ…♥
あはっ♥
しゅき♥
アストラエもすっかり私のおちんぽ中毒♥
聖戦姫なんて所詮はこの程度ね♥
もっと♥もっと唾液くださいっ♥
ドロォ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ゴクッ
ゴクッ
イリスの眷属作りテストも無事成功♥
あなたはとても優秀な奴隷よイリス♥愛しているわぁ…♥
光栄ですレクソーズ様ぁ♥
レクソーズ様のためだったらあたしなんでもしますぅ♥
あぁイリス…あなたのような奴隷がいて私は本当に幸せ者♥
私たちの愛をみんなに知らせてあげましょう♥
ビーンッ
ビンッ
ビンッ
レクソーズしゅき♥
じゅっ…じゅっと一緒に…
イリスぅ♥
はいっ♥レクソーズ様の素晴らしさをみんなに…他の聖戦姫たちにも♥
えぇ♥そして作りましょう…私たちの世界を♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ドロォ…

聖戦姫 オリジス2

～連鎖する洗脳堕淫・もう一人の聖戦姫～

聖戦姫
アリス3
～淫靡なる終焉～

あたしはイリス
かつて人々を守る
聖戦姫であった者――

世界とみんなの平和は
あたしが守るんだから♪

へへっ♪
何度来たって同じよ♪

だけどあの日…リズフォヴィアの
首領であるレクソーズ様に出会い
あたしは聖戦姫の真の使命を
教えていただいたの♥

その使命はレクソーズ様の
奴隷となり服従を誓うこと♥
レクソーズ様はあたしを奴隷に
ふさわしい姿にするために
肉体改造と洗脳を施してくれたわ♥

そのままゆっくりと
意識を手放しなさい

次に起きた時
あなたは…アハ

どろぉ

あたしはレクソーズ様と身体を
交え奴隷としての姿…
堕淫姫へと生まれ変わった♥

はぁ♥

はぁ♥

まるでレクソーズ様と
一つになった気分…♥

レクソーズ様の眷属となった
あたしは命令であれば友人であった
聖戦姫アストラエに襲い掛かることも
ためらわない…だってレクソーズ様の
言うことはあたしの絶対なんだもの♥

しょッ

おぐぐぉッ…

かはっ

ごめんね
アストラエ

でも心優しいレクソーズ様は
アストラエにも洗脳改造を
施してくださったわ♥

ビクッ

ビクッ

やめっ
やめひぇえ

投薬量を一
倍にしてあ

そんな
私に洗
ほらほら
頑張っ

あぐぅうっ♥
何これぇえ♥
気持ちよすぎるぅ♥

快楽味わった
いでしょ♥
スフォヴィアに下れば
っとこの快楽が
わえるんだよ♥

何も知らないアストラエは最初
抵抗していたけどあたしが優しく
奴隷としての快楽を教えてあげたら
簡単に堕ちちゃったの♥
ほんと聖戦姫って単純なんだから♥

ぐぎゅ

はぁ♥

はぁ♥

ぶぅぅぅ

ぅリス…私
ようやく理解
できたわ…♥

アストラエを献上するとレクソーズ様は
いつも以上にご褒美をくださったわ…
レクソーズ様のお声が耳に触れるだけで
全身が幸福感に包まれるあたしにとって
褒められることはなによりの快楽なの♥
この快楽を得るためなら他に何もいらない♥
どんなものだって献上する♥♥

堕淫姫であるあたしの使命は
レクソーズ様にすべてを捧げ服従すること♥
この身体も心も…おまんこも乳首も
偉大なるレクソーズ様のためだけに存在するの♥
あたしが愛するレクソーズ様にこれからも
愛していただけるように♥あたしはあたしの
すべてをレクソーズ様に捧げるの♥♥♥

はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥

あぁ…レクソーズ様ぁ♥
あたし褒められただけで
イっちゃいそうですぅ♥

私が
先程の
しくださいぃ♥

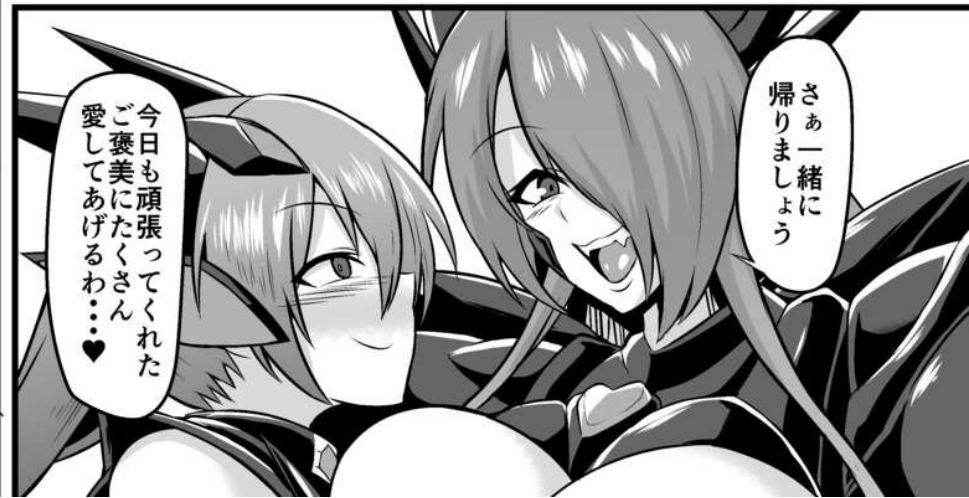
そのために不要なものは
排除する…それが例え
あたしが生まれ育った
この世界であっても♥

ズゴゴゴ

きゃははっ♥どんどん壊れて♥もっと泣き喚いて♥
この世界はリズフォヴィアに支配されるの♥あたしとレクソーズ様の世界に不要なゴミは綺麗に削除してあげる♥
そこまでだイリス！
あらメティス先輩たちじゃないですかお久しぶりです♥
イリス…お前は誰よりも正義感の強い子だったがだからと言って今のお前の行いを許すわけにはいけない！
聖戦姫の名のもとにリズフォヴィアの手先となってしまったお前を私たちの手で止める！

おごぉぉ
ぼぉぉぉぉッ〜!…
ビクッ
ズブッ
メキッ
ズブッ
ぬちゅ
ギッ
ビクッ
ビクッ
ビク

レクソーズ様！
迎えに来たわよ イリス♥
今日も一日 お疲れ様～♥
今日もこんなにたくさんの 聖戦姫を捕らえるだなんて なんて優秀な奴隷なの♥
私のために いつもほんとに ありがとうね♥
ニコッ



侵略活動から帰還するとレクソーズ様は必ずあたしにご褒美をくださるの♥

奴隷であるあたしはこの時が一番幸せを感じちゃう♥

ちゅ

ちゅむ

もう…イリスったらキスだけでマン汁垂らしておまんこアピールしちゃって♥

ん♥

れろ♥

れろ♥

ごめんなさいレクソーズ様♥

んむっ♥

ビンッ

ビン

とろ…

でもこんなに勃起なされたおちんぽを見せられて我慢なんてできませぇん♥

今日の聖戦姫たちはイリスの知り合いだったんでしょ？

昔の仲間を手にかけるだなんて…イリスったら悪い娘♥

だってぇ♥レクソーズ様のご褒美欲しかったんですぅ♥頭の中レクソーズ様のおちんぽのことでいっぱいで♥一分でも早くおちんぽ恵んで欲しい一心で倒しました♥

だからぁ…レクソーズ様の偉大なるおちんぽでおまんこハメハメしてください♥

ズッ

フフ…いいわよたっぷり愛してアゲル♥

あっ♥来たっ♥レクソーズ様のおちんぽっ♥

ブルン

ズチュ

挿入ってるぅ♥ご主人様ちんぽがあたしの奴隷まんこにぃ♥

ブルン

ズチュ

もうイリスったらほんとにちんぽ狂いね♥

はひぃぃ♥そうでしゅっ♥レクソーズ様のおちんぽで犯していただけるなら昔の仲間だって裏切る変態堕淫姫なんですぅ♥

心配しなくてもいいのよ♥今日捕らえた聖戦姫どもは頭と肉体を弄って数日後には私たちの戦力へと生まれ変わるの♥

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ぐぢ

ぐぢ

ぐぢゅ

ぐぽっ

今日も私に貢献してくれた奴隷にご褒美としておちんぽを恵んであげるのは主人として当然のことなのよイリス♥

あっ♥ありがとうございましゅううう♥
だから遠慮なくおまんこ楽しんでいいのよ♥♥
ハッ♥
ハッ♥
あっ♥イっちゃう♥
ぐぽっ
ぐぽっ
嬉しすぎてもうイっちゃ…
あぁッ♥
あんっ♥
ビクン
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ズチュ
ズッチュ
ぶぽっ
ぶぽっ
あらあらイリスったら先にイっちゃったの？しょうがないわねぇ♥
それじゃあまず一発目のご褒美ミルク…
子宮の一番深いところに出して更にイかせてあげる♥
あっ♥

おぉぉ♥
ビュ
ビュ
ドプッ
ドプッ
ビュ
レクソーズ様のせーえき♥
子宮に注ぎ込まれてるっ♥♥
熱いッ♥おほぉおおおッ♥♥
脳みそ沸騰しちゃうう♥
ビュルルル
よしよし♥
よしよし♥
よしよし
そのままおまんこ
締めて精液を全部
飲み込みなさい♥
ビュビュビュ
今日は聖戦姫どもを
三人も捕まえてきたから
もっともっと濃い精液を
プレゼントしてあげるわ♥
さぁ第二ラウンドよ♥
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
おッ
おッ
おッ
おッ
ギシ
ギシ
ギシ
ギシ

リっ
リズフォヴィアよ！

逃げっ…

キャア

あたしたちの任務は
手当たり次第に街を破壊し
人間どもを気まぐれに殺し
犯しまくること♥

ほら雑魚まんこ
もっと締めろっ♥

殺されたく
なかったらもっと
おまんこに力を
入れなさいっ♥

ブボッ

ブボッ

いやぁあ

あ♥
いや♥

ぶるぶる

助けてっ…
助けて聖戦姫ぃ！

ぶるるん

あたしたちを止められる者は
存在しないからやりたい放題♥
無様に泣き喚く女を力任せに
犯しまくるのが日課なの♥

ざんね～ん♥
あたしたちがその
聖戦姫よ

元だけど♥

ドッ

ブルルル

まぁまぁ♥
あぁ～♥

ゾクゾク♥

人間どもをオナホみたいに
使い捨てるのってほんと
最高の気分になれる♥

けど人間どもは一回犯しただけで壊れちゃう使い捨てオナホだから犯し足りない日もあって…

あんっ♥アストラエのおまんこいいよ♥

そんな時はアストラエのおまんこを使わせてもらうの♥

ハッ♥

ハッ♥

私もっ♥

そこっ♥もっと突いてぇ♥

ズチュ

ズッチュ

犯した女たちは殺さずに捕らえて基地に持ち帰るように命令されている

何のためかはわからないけどあんなオナホにしかならない雑魚共の運命なんてあたしには関係無いわ♥

ん♥

ちゅ♥

ちゅ♥

んん♥

イリスっ♥もっと動いて♥

めちゃくちゃにしてぇ♥

ズッ

ズッ

アストラエのおまんこは突く度に締め付けてきてとても気持ちいい♥

イリス♥

イリス~♥

何度犯しても壊れないアストラエのおまんこはあたしのお気に入りなの♥

でも一番気持ちいいのは
レクソーズ様のおまんこ♥
特に優秀な功績を出した時のみ
レクソーズ様はあたしだけに
おまんこに挿入させてくれる♥

あっ♥

じゅるっ

ハッ♥ハッ♥

そうそう
上手よイリス
好きなように
腰を動かしなさい♥

あぁっ♥

レクソーズ様のおまんこはあたしの
おちんぽを美味しそうにくわえこむの♥
おちんぽが蕩けてレクソーズ様の膣内と
一つに溶け合ってるみたい♥♥
アストラエのとは比べ物にならない♥♥

パンパンパンパ

だけどやっぱりあたしはレクソーズ様に犯していただくのが大好き♥
圧倒的な力でおまんこを突かれまくることであたしはレクソーズ様に支配されてる幸福感を感じるの♥♥
レクソーズ様っ♥レクソーズ様ぁ♥♥♥
レクソーズ様専用の堕淫姫まんこにっ♥精液お恵みください♥♥
んふっ♥もちろんよ♥
キンタマで煮えたぎったドロドロの溶岩みたいなザーメンを味合わせてあげるわっ♥♥

愛していますレクソーズ様♥

心より愛しています…♥

ゾワ♥

ゾワ♥

ビュッ

ドピュッ

ドピュッ

ドピュッ

アストラエ！一気に決めるよ！

もう…しょうがないわね！

ダブルバニシングインパクト!!

ドォォォ

な…なんとか勝てた…

ニヤッ

やったねアストラエ！

ドキッ

キリッ

きゃあっ!?

もうっ！イリスったら驚かせないでよ

それにあんな無茶な戦い方して…

えへへごめんごめん

でもアストラエが来てくれたおかげでほんと助かったわ！

あと少し遅れたら街の被害が大変なことになってたかも…

リズフォヴィアの連中…何の罪もないみんなを襲ってほんとに許せない…！

あんな連中と戦えるのはあたしたちしかいないんだから頑張らないと！

あなたってほんと人一倍正義感が強いんだから…

レクソーズは得体の知れない奴なんだから気を付けなさいよ？

うん！わかってる！

グッ

あんな悪い奴の思い通りになんかさせちゃいけない…

あたしたちは聖戦姫！リズフォヴィアから人々と世界を守る正義の戦士だもんね！

レクソーズなんかに絶対負けないよ！

あぁん♥
ビュルッ
ビクッ
ビクッ
ん～♥
今日もイリスのおまんこは最高よ♥
こ…光栄ですレクソーズ様ぁ♥
ドロォ…
私のおちんぽすっかりあなたに魅了されてるわ♥流石は私のハメ穴奴隷ね♥
あぁ…そんなに褒められると奴隷まんこ喜んじゃいますぅ♥
あぁ…お腹の中の赤ちゃんが動く度に幸せが溢れてきます♥
ドクン
ドクン
私も幸せよイリス♥ついに私たちの子供が産まれるのね♥
今まで中出ししてきた私の精子すべてを受精して育ってきた赤ちゃん…
レロ♥
レロ♥
きっとイリスに似て元気で可愛い子よ♥

でもレクソーズ様…地球侵略の方は大丈夫なんでしょうか？

もうイリスったら♥そんなの気にしなくていいのよ♥

侵略はしばらく他の堕淫姫たちに任せておくわ♥

みんな優秀なおまんこを持ったいい娘たちだもの♥立派に奴隷として尽くしてくれているわ♥

ゾリゾリゾリッ♥

あぁ…人間たちを蹂躙するのはなんていい気分なんだろう♥

見ていてくださいレクソーズ様とイリス様…この堕淫姫メティスめがお二人の世界を作り上げて差し上げます…フフッ♥

だからイリスはもっと私とおまんこして

ムギュ

ぴゅ♥

キゅ♥

お腹の赤ちゃんを育てましょう♥

びゅる♥

あぁそうそう…アストラエにもしばらく休暇をあげたの♥

ペロッ

あの子も優秀な奴隷だもの♥

ご褒美として特別にイリスのクローンを作ってプレゼントしてあげたの♥
すごく喜んでくれたわぁ♥
あっ♥
ハァ♥
ハァ♥
いりしゅっ♥いりしゅがいっぱい♥
チュ〜
もっとハメハメして〜っ♥私の身体の外も中もイリスでいっぱいにしてぇ♥
ズチュ
ズチュ
イリス♥イリス♥イリス♥
しゅき〜♥
だいしゅき〜♥
あはっ♥
アストラエってばあたしのこと大好きだからきっと毎日あたしとセックス三昧しますよ♥

レクソーズ様…これって…

そう指輪よ…あなたのために私が作ったの♥

イリス達が捕らえてきた女たちの生命エネルギーを私の力でコーティングして闇に染め上げた宝石よ♥

その大きさにするのに大体一億人くらいに犠牲になってもらったの♥

美しい輝きでしょう？私の妻となるあなたにとってもふさわしいわ♥

えっ…？

結婚しましょうイリス…私のお嫁さんになって♥

私の奴隷として妻として…ずっと私の側にい続けて頂戴♥

あ…♥ああ♥

ドクン…

あなたは私が一番愛する存在…♥

永遠に愛し合いましょう…夫婦として♥

ニコッ♥

レクソーズ様…♥

どうしよう…あたし幸せすぎてっ…

ドクン

ドクン

あっ♥ああっ♥レクソーズ様ッ♥レクソーズ様ッ♥♥

ドクンッ
キィィィン
ぅ…ッ…♥
あっ…♥
産まれるっ…♥
あぁ…ついに来たのね…
アハ…
ビクッ♥
この時をっ♥待ちわびたのよ♥
あっ♥
ボッ♥
私とイリスの愛の結晶がついにこの世に産まれる♥♥
最ッ高♥♥おちんちんがますます勃起しちゃうっ♥♥
出産直前まんこのぬくもりでおちんぽ膨張しちゃうわっ♥♥
ビキッ
ビキッ

おッ♥
あッあッ♥
おッ♥
レクソーズさまッ♥
レクソーズしゃまあッ♥
好きっ♥
好きよイリス♥
さぁ元気な
赤ちゃんを産んで♥
レクソーズ様の愛が
伝わってくる♥♥
全身が快楽と幸福で
満たされていく♥
レクソーズ様のことしか
考えられないぃいいいい♥

愛してますレクソーズ様ぁ♥好きっ大好きです♥私幸せですぅうう♥
もちろんよイリス♥何度でも言ってあげるわ♥私たちはいつまでも一緒♥私たちの愛は終わりなく永遠に続いていくの♥
ずっとずっと一緒に♥永遠に♥側にっ♥側にいさせてくださいぃぃ♥
奴隷として妻として♥♥ずっとあなたを支配し続けてあげる♥♥♥
さぁ産みなさいッ♥♥
おぉぉぉぉぉ♥
ズッ
ズブ
ズチュ
ブシュ
ズモ
ズッ
ズブッ
ビュッ
はぁ♥
はぁん♥
ブシュ
産まれるっ♥
おぉ♥
ドクン
ドクン
ドクン
メボッ
産まれてきてあたしの赤ちゃん♥
あたしとレクソーズ様の赤ちゃんっ♥♥
あっ♥イくっ♥産みながらイくっ♥
ブシュ
ブシュ

おぉぉぉ
イッ
ビクッ
ビク
ブシュ
ブシュ
ブシュ

産まれたわイリス…私たちの子供が♥

キゅ？

あぁ…あたしとレクソーズ様の赤ちゃん…♥

ハァ♥ハァ♥

なんて幸せなの…♥

さぁこの世界も直に滅ぶわ…新たな世界を創造し私たちの楽園を築きましょう♥

はいレクソーズ様♥仰せのままに…♥

レクソーズ様…貴女に出会えてあたしは本当に嬉しいです♥貴女が望むものならすべて捧げます♥

あたしは堕淫姫イリス♥レクソーズ様への服従がすべてである忠実なる奴隷♥

レクソーズ様に栄光あれ…♥

聖戦姫アリス3

～淫靡なる終焉～

聖戦姫
メティス
-洗脳調教に堕ちる気高き乙女-

聖戦姫――
それは聖なる力で
悪と戦う乙女たち

聖戦姫たちは
侵略組織リズフォヴィアの
世界征服を阻止するため
戦いを続けていた

ズバッ

聖戦姫メティス
その圧倒的強さから
最強の聖戦姫とも
呼ばれる戦士

よし…これで
最後の一本か

だが斬られても
なお動き続ける
この触手の活発さ…

ビチッ

ビチ

間違いない…近くに
触手を操る者がいる

時に厳しく時に優しい
彼女は聖戦姫たちの
憧れの存在であり
多くの聖戦姫たちが
彼女に鍛え上げられ
戦士として育てられた

ドチャ

ドチャ

だがメティスの元で
育った聖戦姫の中で
悪へと堕ちた者がいた

聖戦姫イリス
かつてはメティスからも
一目置かれた人一倍
正義感の強い聖戦姫だったが

リズフォヴィアの首領
レクソーズに捕らわれ
洗脳改造を施されてしまい
悪の聖戦姫――堕淫姫へと
変貌してしまった

堕淫姫イリスの出現により
リズフォヴィアの侵略活動は
急激に勢いを増していき

悪の手先となった
かつての弟子を止めるため
メティスは他の聖戦姫と
共に戦いを挑んだが

イリスの驚異的な
力の前に成す術が無く

敗北し捕らわれて
しまった…

ふふっ♥
いい恰好ですよ
メティス先輩♥
くっ…
ギチッ
ギチ
とっても敗者に
お似合いな
無様ポーズです♥
ニサとディーケは
どこにいる！
答えろイリス！
自分よりも仲間の
心配だなんて
先輩ってば優し～♥
心配しなくても
雑魚二人は仲良く
洗脳改造を受けて
アヘアヘ言ってますよ♥
なっ…!?
もちろん先輩も
これから同じ目に
あっちゃいます♥
聖戦姫の真の使命は
レクソーズ様の忠実な
奴隷となり身も心も
すべて捧げること…
ただそれを教えて
あげるだけです♥
目を覚ませイリス！
お前はレクソーズに
操られてるだけなんだ！
誰よりも優しく
正義感の強い本当の
自分を取りもど…
ッぐ!?
ズリッ

やめろっ…何を…ぅぐっあぐぁあっ…

脳にナノマシンを注入して記憶と思考を改造してあげます♥

レクソーズ様はおっぱいの大きなむちむちエロエロボディが好きなの

あっ…あがああっ

頭がっ…しびれっ…脳に何か気持ち悪いものがっ…

ナノマシンによる全身改造を存分に味わってください♥

気持ちいいでしょう？

ナノマシンと同時に投与してる媚薬が感度を狂わせて未知の快楽を教えてくれるの♥

なんだこの脳内に止めどなく流れてくる卑猥な情報はっ…

おッ

ガ…

やめっ…

おおおッ

少しでも気を抜くと塗りつぶされそうになる…イリスもこれで洗脳されてしまったのか!?

レクソーズ様の奴隷にふさわしいエロ知識満載の有能ドスケベ淫乱ボディに生まれ変わるんですよ♥

くぁっ…私は…こんなものに屈したりはしない…！

フフ…強がっても無駄ですよ

ほらおいしそうなおまんこ汁がこんなに溢れてます♥

くぱっ

トロ…

ん～♥
レロ～
やめっ…そんなとこ舐めるんじゃ…ッ
っく…ううぅっ
ビクッ
性器を舐められただけで頭が飛びそうだ…既に感度が狂わされているのか!?
とろとろでくっさい味が鼻の中まで染みこんでくる…
じゅる
まん汁精力剤がちんぽにまで届いて…んんっ♥
ムクムク
なっ…なんだその陰茎は!?
いいおちんぽでしょ？先輩は今からこのちんぽに犯されちゃうんです♥
ビッビッ
犯されっ…まさか!?
やめろイリス！そんな汚れたものを近づけるなっ…
そんなもの入るわけがっ…
ズボ

ほッ!?
ズ
ブ
ズブ
ぶぷぷぷッ
おお〜♥
うごっ動くなぁあ
じゅぷっ
じゅぷっ
イリスの陰茎が私の膣内を抉るようにッ…
ビクッ
ひぐ♥
ひぐ♥
快楽で脳が焼け飛びそうだっ…
ズブッ
ぐぽっ
ぐぽっ
ズチュ
ズチュッ
アハハッ♥先輩の間抜け声最高ッ
オッ
ほぉッ
おっ
ビクッ
ほぉぉッ
ちんぽにビンビン来てっ…あはっ♥
先輩まんこいいっ♥♥
はひっ♥はひっ

っほおおお♥
やめっ…やめるんだイリスぅ♥
ダメで～す♥先輩は子宮にいっぱい射精されて♥奴隷の証である淫紋を浮かばせながら堕ちるんです♥
パンッ
パンッ
ズボッ
ズボッ
アストラエみたいに先輩もレクソーズ様の眷属になりましょう♥
なっ…アストラエだと!?
馬鹿なっ…イリスと共に育て上げたアストラエまでレクソーズの手に堕ちているというのか!?
アストラエも最初は嫌がってたけど素直に受け入れてくれたんですよ♥
やめろっ…今すぐに抜い…ひっ!?
な…何か来るっ…!?
先輩もイきそうなんですねっ♥
あたしも限界でっ…
ぬぷっ
ぬぷっ
ズボッ
ズボッ
ドピュッ
出るっ♥
ぎゅっ

おっ♥イ…
ビュルルルル
ビュルルルル
ビュルルルル

当然…だっ私は決して屈したりは…
先輩ったらぁ♥まんこ痙攣させながら強がっても説得力無いですよ♥
もう！先に始めるなんてずるいわイリス！
アストラエ!?お前までそんな姿に…
え～まだ先輩でもっと遊びたいの♥
イリスばっかずるいわ♥さっきからちんぽムズムズするの♥
じゃあ二人で犯しちゃおっか♥
いい考えねっ♥
私にも先輩のまんこ味わせてよぉ♥
あらアストラエ♥お帰りなさい♥
覚悟してくださいね先輩♥
くっ…お前たち正気に戻るんだ！聖戦姫として育った日々を思いだ…
ぶぼっ!?
ごげっ
おぼぉ～ッ

変わり果てた二人は
ただ欲望を満たすように
私を犯し続けた

すごっ♥
先輩ったら
こんな名器
隠しもってたの♥

まんこまで
最強なんですね♥

パン
パン
パン
パン

ごぉ
おっ

ブポッ
ブポッ
ブポッ
ごるん
ごるる

喉まんこが
ちんぽに吸い付くぅ♥

何度も中出しされ
私の体には二人の
精液が染みついていく

おっ…
ごもぉお♥

ドピュッ
ブリュル

何時間も行為は続き
二人は満足すると
大量の触手を私に
けしかけ去っていく

ズボッ
ブボッ
ぐぽっ
ギチ

はぼぉ♥
ニュル
ビク
ビク
ぐっ…
ニュル
おぉお♥
ボコ
ギチ
ギチッ

媚薬粘液が纏わりついた
触手に何も抵抗できず
私はイリスたちと触手に
犯されるしかなかった

ぐっ…
いっ…
陰核が!?
先輩にも立派なおちんぽが生えましたね♥
ナノマシンによる肉体改造で胸は醜く肥大化され
陰核も改造され巨大な陰茎へと変化してしまった
こんな気持ち悪いものを生やされて気持ちよくなるわけがっ…
精通おめでとうございま～す
日々続く二人の調教に身体を快楽漬けにされた私は無様に絶頂する声をあげることしかできなかった

だが私は絶対に負けたりはしないっ…お前たちを救うために耐えてみせる…！

先輩も早くこっちに来ましょうよ～♥

もう諦めましょ♥

聖戦姫の誇りにかけて私は屈したりなど…

屈したりなどおおおっ♥♥♥

無調整の媚薬原液と投与量十倍のナノマシンを全身に一斉注入～♥

どうなっちゃうかな～♥流石に自我も保てないくらい精神崩壊しちゃうかな？

大丈夫よなんてったってメティス先輩は最強の聖戦姫なんだもん♥

このまま数日放置しても問題無いわ♥

頑張ってくださいね先輩♥

数週間後――

あぐ…

先輩すごーい♥媚薬漬けにされて毎日犯されてもまだ耐えるだなんて♥

でももう限界って感じですね♥

とっとと堕ちちゃえばもっとすごい快楽を得ることができるのに♥

くぅっ…やめろ！そんな言葉で誘惑するな！

身体が疼くっ…空気が触れるだけでイってしまいそうだ…！

それにおまんこ犯されてちんぽもいじめてほしい気持ちが抑えられんっ…！

あぁそんな…想像しただけでちんぽが固さを増していくッ…ダメだ…私は負けるわけには…

ふふ…最強の聖戦姫もこうなればただの雌豚ね♥

！

レクソーズ様♥

つ…ついに現れたな元凶め…お前を倒して私はイリスたちと人々を助け…

…ッ!?

はじめましてメティス会うのは初めてねぇ♥
なっ…
あなたの強さはイリスから聞いてるわ♥
なんだ…この感情は…
ドキッ
レクソーズ様ぁ♥
ほら二人ともこっちに来なさい♥
何故私は今嬉しいんだ…？
私は何を考えてる…？
ドクン
ドクン
こいつは私が討つべき宿敵なんだぞ…
なのにレクソーズに撫でられているイリスたちを見て…
♥
何故こんなに羨ましいんだ…？
は～♥
は～♥
ビンッ
ビンッ
トロォ
フフ…メティスったらちんぽから粘っこい先走り汁垂らしてるわよ♥
屈強な精神力でなんとか耐えてたようだけどもはやここまでのようね♥
ニヤッ
よくやったわ二人共…丁度食べ頃のようね♥

くっ…離せ！狂った思考の侵略者めッ
貴様を討てばすべて終わる！私は貴様などに屈したり…
そそられるわねその台詞♥ほぉら私のちんぽ…興奮してもうこんなにバッキバキよ♥
ぶるんっ
ビリッ
ビッ
ビッ
さーてイリスたちが開発したあなたの屈強名器まんこ…いただくとするわ♥
なっ…
ビキッ
何だこの巨大なちんぽは!?私のちんぽとは比べ物に…これがレクソーズの…!?
すごいでしょ？今からあなたはこのチンポによって肉体も思考も支配され私に屈するのよ♥
わ…私は負けない！
そのような屈強な超勃起ちんぽになど絶対に負けない！
メキッ
おまんこを犯されようと聖戦姫の名の元にッ
負けたりっ…

おっ
おほぉ
ぶるるる
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ぶるるる
ぶるるる
ぶるるる

どうかしらぁ？私のちんぽは♥
はへッ♥
あっ♥
あっ♥
ぴゅる
フフッ♥喜んじゃって♥
私専用の肉穴奴隷であると自覚したかしら♥
パン
パン
パン
パン
ずぽっ
ずぽっ
ぎゅむっ
ぎゅっ
もうあなたの身体はすべて私の物よ♥
観念して全部捧げなさい♥
レロォ
んんっ♥
勝てるわけがない…
いや勝ちたくない…負けたい…レクソーズに…
いーなー♥
レクソーズ様に支配されたいっ♥♥
さっ…捧げます♥
ヘっ♥
ボッ
ボッ
ボッ
ブポ
ブパッ
このメティス♥レクソーズ様に忠誠を誓いますぅ♥
だからもっとぉ♥もっと激しく私の糞ザコ屈服まんこズコズコしてください♥
ビュッ

ひぐっ!?
あら…子宮に溜まったイリスたちの精液があなたの想いに反応して変化が始まったようね♥
おぉ♥おぉ♥
おぉぉぉぉぉ♥
んんっ…
ガッ…

なんだこれは…身も心も幸福に…快楽に包まれていく…

ギチッ

あ…♥

ビクッ

ビクッ

ゾクゾク

あぁぁぁっ♥

これが…レクソーズ様の眷属として生まれ変わった堕淫姫の力なのか…♥

ハァ

ア

ア

ア

ア

ア

ギチ

ギチッ

ドュ

フー♥

フー♥

いいわっ♥可愛い姿になったじゃない♥

それじゃ新しい私の奴隷まんこに…

ご主人ザーメンを褒美として恵んであげるわっ♥

イ
ビュッ
ビュッ
ドクドクドク
ドクドクドク
ドクドクドク

ヌポッ
なかなか具合のいいまんこねっ…気に入ったわぁ♥
ゴパッ
ドサッ
ニヤッ
ハメ穴オナホ奴隷として側に置いといてあげる♥
期待してるわよ…堕淫姫メティス♥
お任せください レクソーズ様♥
この身体も心もすべて
はあ
はあ
あなたに捧げます…♥
ハッ
ナデッ
たぷっ

聖戦姫

メフィス

-洗脳調教に堕ちる気高き乙女-

illust.三夜代

はあっ♪はあ♪
レクソーズ様ぁ♥
私の子宮にっ♥
せーし出してくださいっ♥
私にあなたの
赤ちゃん産ませて
くださいぃ♥♥♥
ふふっ♪
もちろん孕ませて
あげるわ♥
あんたは私の
モノなんだから♥
はいっ♪
あっ♪
はっ♪
あんっ♪
はっ♪
はあ♪
はっ♪
はあ♪
はあ♪
くちゅ
くちゅ
キュン♪
キュン♪
ドクッ♥
ドクッ♥
ドクッ♥
ドクッ♥

illust.天漸雅

んひっ♥ おぉぉぉ♥
ふたなりおちんぽ汁とまらにゃいいいっ♥
イリスったらイケない娘ねぇ♥
元相棒(アストラエ)を改造して作ったオナホで射精が止まらなくなっちゃうなんて
ゴポポッ
ビククッ♥
ブビュルルルッ
ジュッ
ジュッ
らってぇ♥ レクソーズ様のおちんぽも♥ アストラエのオナホおまんこも気持ちよしゅぎますぅっ♥
ウフフ… ナノマシンで肉体をオナホに変えちゃう培養槽…
開発は大変だったけどあなたが喜んでくれて嬉しいわぁ♥
ぐぽっ♥
ぐぽっ♥
ぐぽっ♥
んっひいいい♥ ありがとうございましゅ♥
アストラエもオナホおまんこきゅんきゅん締め付けてっ♥ レクソーズ様に感謝してますぅ♥
illust.煌野一人

聖戦姫
アリス
-COMPLETE BOOK-

聖戦姫――
それは聖なる力で悪と戦う乙女たち

覚悟しなさいレクソーズ！

あなたの野望も今日でお終いよ！

フフッ…返り討ちにしてあげるわ♥

聖戦姫の一人であるイリスは侵略組織リズフォヴィアの世界征服を阻止するため戦いを続けていた

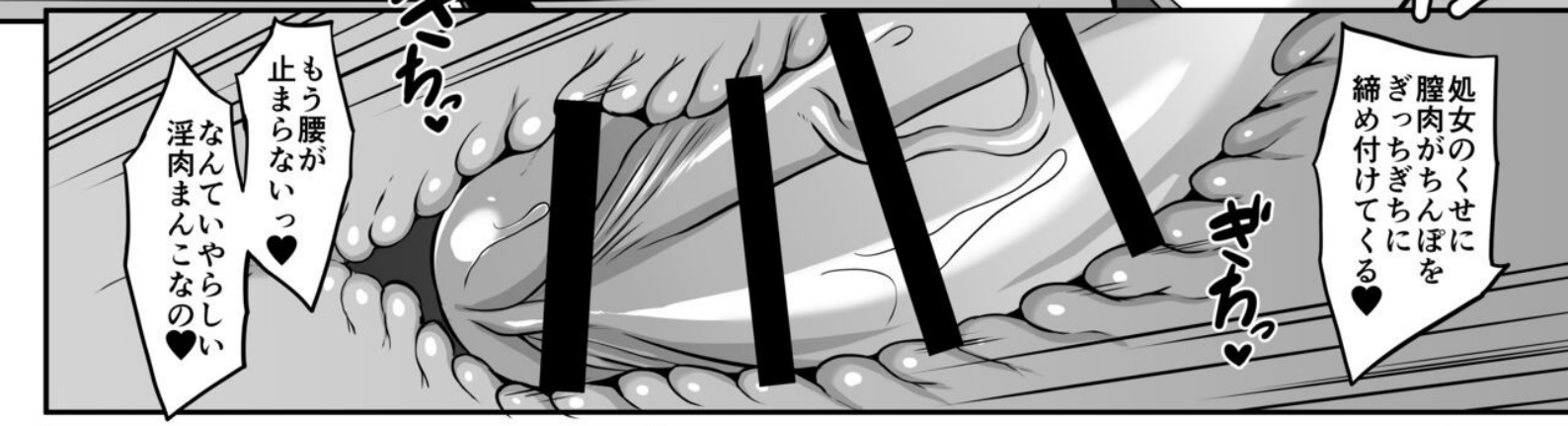
あらあら…もしかしてもうおしまいなの？
あっ…
ピク
ピク
あぐ…
さっきまでの威勢はなんだったのかしら
そんな弱さでよくみんなを守るだなんてほざけたものね♥
うそ…あたし負けちゃったの…？
ダメ…！あたしが負けたらみんなが危な…
ラク…
あははっ♥
あたしったらよっわ～い♥
まあ当然よね♥あたしがレクソーズ様に勝てるわけないじゃない♥
それでも昔のあたしがこんな無謀で自信過剰な聖戦姫だったと思うとほんと恥ずかしいわ♥
えっ…あたしがもう一人…!?

どういうこと…？
それに昔のあたしって…？
そのままの意味よ♥
あなたはかつてのあたし♥
あたしは堕淫姫イリス♥
そしてあなたはあたしの細胞から作られたクローン♥
あたしが…クローン…!?
でもただのクローンじゃないわ♥人間だった頃のあたしとして生まれてくるように調整を加えた特別なクローンなのよ♥
私の愛で眷属となった堕淫姫のイリスももちろん愛しているけど…
私に歯向かっていた頃のピュアで強気な聖戦姫のイリスも大好きなの♥
そこで私は肉体も記憶も聖戦姫の頃のあなたをクローン技術で作りあげたのよ♥
あなたはとっくに負けているのよイリス♥
この世界は既に私のもの♥
自分がクローンとも知らず世界を救おうと私に立ち向かってくるあなたの姿は実に滑稽で興奮したわ♥

う…ウソだ！全部ウソだ！
あたしはクローンなんかじゃ――ッ!?
そう思いたいなら勝手に思ってなさい♥
ビンッ♥
ビンッ♥
堕ちる前のイリスもオナペット奴隷として飼っておきたい…
あなたはそんな私の欲と戯れのためだけに生み出された存在なのよ♥
ビクッ
ビクッ
じわぁ
トロ…
どうやら記憶は無くても私の雌奴隷であるという自覚が細胞に染みついていたようね♥
ドクン
ドクン
何…これ…臭くて気持ち悪いのに目を離せない…！
身体が熱い…あ…あそこが疼いて……
はっ
はっ
あら…もしかしてちんぽ見ただけで発情しちゃったかしら？

これなら早速挿入ても問題無さそうね♥
ひっ!?
ビクッ
ズイッ
ビリリ
やだっ…やめてえ!
たまらないわぁその初々しい反応♥
フーッ♥
フーッ♥
おちんぽが更にガチガチになっちゃうわ♥
もっと可愛い声を聞かせて頂戴ね♥
ぬちゅ
ぐぐぐ
いやっ
いやあぁっ
おっ
おおおお!!
うおっ♥
これがイリスの初物まんこっ♥
ギチ
ギチ
ぶちゅんっ
ブチッ
ブチブチッ
この時をず～っと楽しみにしていたの♥
あっ…
あ…

あッ
いやあぁ
バチュ
ズチュ
ぐぽっ
ぐぷっ
バチュ
おっ♥
いいわっ♥
たまらないわ♥
最高よぉ♥
やめてぇぇ



あれ～？イリスママが二人になってる～！

あら♥お帰りなさいインヴィー♥今日も楽しかった？

うん！いっぱい殺していっぱいおまんこしてきたよ～♥

ねえねえイリスママおっぱい飲ませて♥お腹空いた～♥

イリス…ママ…？

ガクガク

嘘…そんな…まさか…

そうよ♥あの子はイリスが産んだ私の娘インヴィー♥

ちゅ～♥

育ち盛りで大変なんだから♥

メティスとアストラエも私の子を身籠っているのよ♥

そっ そんな…!?

私の子を孕んだボテ腹姿で侵略活動を行うその様は何度見ても最高なの♥

心配しなくてもあなたもしっかり種付けして妊娠させてあげる♥

元気な子を産んで頂戴ね♥

妊娠なんてしたくないっ

あなたの子供なんて産みたくないいいっ

いやあぁっ

ぐぽっ

ぐぷっ

嘘おっしゃい♥こんなにまんこ汁どばどば溢れさせて感じてるくせに♥

孕みたいのがまるわかりよこの変態聖戦姫っ♥

ブポッ

ブポッ

くっ♥
はっ♥
はっ♥
そろそろ出すわよ♥
子宮の奥までた～っぷりと満たしてあげる♥
いやあっ
やだっ
やめてええええっ
私の子を孕みなさいイリスっ♥
ドュルッ
あっ♥
ビクッ
ドドド

っふう～…
すっごい濃いのが出ちゃったわぁ♥
ボッ
最高だったわイリス♥
ビクッ
ビクン
どんな子が産まれるのか今から楽しみよ♥
ビクッ
ビクン
これから毎日…いえ永遠にハメ続けてあげるから覚悟なさい♥
あっ…
やあっ…
ビッ
ドロッ…
ぴくっ
ぴく
愛してるわイリス♥
あなたは私のものよ…♥

聖戦姫

ナルシス

-COMPLETE BOOK-